

名札見直しについて

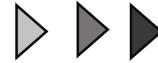
◆背景

昨今では、SNSの普及により、氏名のみで個人情報が特定される時代となってきており、着用している名札から氏名を確認し、SNS等から悪質な嫌がらせなどを受けている事案が全国的に起きており、その対策として、全国各自治体で、名札を「フルネーム」→「姓のみ」への見直しが進められています。

◆目的

上記背景を踏まえて、名札を基にした個人の特定による悪質な嫌がらせや被害を防ぎ、安心して働くことが出来る職場環境をつくることを目的に「名札の見直し」を行おうとするものです。

市職員が“安心して働くことが出来る環境”をつくる。



「市民サービスの向上」に繋がる。

草津市の現状



〔名札〕

・左記のとおり、フルネームで記載しており、ふりがな、ローマ字表記あり。

その他の表記状況

〔窓口〕

・ 座席表を窓口に設置。
 (「姓」or「フルネーム」は所属判断、所属によっては、顔写真添付有)

〔公文書〕

・ 草津市文書事務ハンドブック (P.163) に記載のとおり、原則として、通知文書の末尾に担当者名を記載 (「姓」or「フルネーム」は所属判断)

滋賀県内の名札見直しの実施状況

●「姓のみ」表記		
うち「漢字」表記	うち「ひらがな」表記	ルールなし
3市	0市	1市

●クレーム数		
「漢字」表記	「ひらがな」表記	ルールなし
0件	0件	0件

・ 県内13市のうち、4市が「姓のみ」の表記見直しを実施していました。
 ※1市のみR5年度から実施し、他3市はR6年度より実施。
 ※未実施の9市においても、4市は実施を検討中。

・ いずれの市も「姓」の表記を“漢字”や“ひらがな”としたことに特別な理由はありませんでした。

ひらがな表記としている事例 (全国)

徳島市、東海市、半田市など

「高齢者や外国人など、誰もが読みやすいこと」や「より個人が特定されにくいこと」を理由に、“ひらがな”表記とされておりました。

※現時点で、クレームは発生していないとのことです。

「実施案」



- ① 左上に「所属名」表記
- ② 中段に“ひらがな”で「姓のみ」表記
- ③ 下段に「姓」のローマ字を表記
- ④ 読みやすさの向上としてユニバーサルデザインフォントを採用

名札の見直しにあたって

●フルネーム表記について

⇒原則「姓のみ」とするが、状況に応じて、必要と判断する場合は、漢字・フルネームの名札着用可とする。

●同姓のいる所属について

⇒名札においては、原則「姓のみ」の表示とし、必要に応じて相手方に各個人がわかるように対応することとする。

●窓口の座席表について

⇒名札と同様、原則“ひらがな”にて「姓のみ」記載とする。
 ※顔写真掲載不可

●公文書の担当者名の表記について

⇒漢字「姓のみ」表記に統一する。(総務課確認済)

スケジュール

6/4(火) : 部長会議



6/10(月) : 実施周知
 (庁内周知)

※6/13(木)に開催の
 不当要求研修時に本通知
 内容を併せて周知検討



7/1(月) ~ : 運用開始